

長崎人がそれぞれの“スキ”を発信!!

ながさき ラバーズ
長崎カルチャー LOVERS

今月のLOVERS

平尾 秋成 さん



Q1. カルチャーラバーズになったきっかけは?

就職で一度長崎を離れましたが、遠くから長崎を見ることで、食・歴史・祭りなど一年中、いろいろな魅力が楽しめる長崎の文化にとっても心引かれるようになりました。

長崎に戻り、今の会社で働くようになってから、長崎にたくさんある良い所を発信できないかと考えていました。昨年からは段ボールや紙などで長崎をモチーフにした作品を作り、長崎の魅力を発信しています。

長崎には、夜景やおくんち、ちゃんぽん、カステラなど魅力がいっぱいです。そこで始まったプロジェクトが「長崎〇〇ラバーズ」。市民一人ひとりが自分の“スキ”を発信し、長崎を盛り上げていく取り組みです。今回は、有限会社平尾ダンボールの平尾さんに長崎の“スキ”をインタビューしました。

Q2. 長崎の“カルチャー”の魅力は?

食文化一つをとっても、「おいしいもの」「歴史があるもの」「生産量が多いもの」など、とても多様性に富んでいますが、他の分野にも長崎ならではの魅力がたくさんありますよね。長崎に住んでいると気づきづらいですが、こんなに良い所だらけのまちは他にないです。

自分の仕事を生かして、路面電車のペーパークラフトや段ボールで大きな眼鏡橋と教会を作り、いろいろなイベントで展示しています。訪れた子どもたちに大人気なんですよ。



Q3. 今後の目標は?

これからも長崎ならではのものを段ボールでかたちに、子どもを中心に広げていきたいですね。

そして、ゆくゆくは長崎の地域資源を詰め込んだ子どものまちは段ボールで作れ、さらに長崎の魅力を伝えていきたいです。

あなたもLOVERSになろう! 詳しくは公式サイトをチェック



フェイスブック
@nagasaki lovers



インスタグラム
@nagasaki lovers



ホームページ
長崎LOVERS

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!



ホテルニュー長崎 大串 康紀 さん



「安心・快適」「夢・感動」をモットーに、地域文化の発展に貢献する地元密着型のホテルです。今回は、ホテルニュー長崎宿泊部フロントグループで働く、入社6年目の大串さんを紹介します。

Q1. この会社に就職した理由は?

大学に在学中、イタリアンレストランで調理やホールのアルバイトをしていました。地元・長崎で、接客業に就きたいという気持ちが非常に強く、ホテル業界を目指していました。就職先は、長崎でも指折りのホテル、ホテルニュー長崎以外には考えませんでした。

Q2. どんな仕事をしていますか?

コンシェルジュとして、宿泊するかたの困りごとの解決をはじめ、観光案内や外出先の手配など、お客さまの多様なご要望にお応えして、快適に過ごしていただくための仕事をしています。

Q3. 職場の雰囲気はどうですか?

個人の意思で判断して、責任をもって動くことができる職場だと思います。また、社内のサポート体制がしっかりしています。そのおかげで、長崎県による「長崎コンシェルジュ」で、県内に6人しかいない、「ゴールド」の認定をうけることができました。

Q4. 今後の目標は?

「レ・クレドール」という世界最高峰のコンシェルジュによる組織があり、幅広い経験や知識を持った人しか入会できません。レ・クレドールのコンシェルジュがいるかいないかで、宿泊するかを決めるかたもいると言われていています。私も経験を積み重ね、さらに勉強をして、そんな皆さんと肩を並べるような存在になりたいと思っています。



Q5. これから社会人になる人へメッセージを!

大学の専攻は理系ですが、違う分野での仕事に就きました。しかし、これまで学んできた幅広い知識が、コンシェルジュの仕事として武器になっています。人生での経験で、無駄なことはないと思うので、沢山のことを経験してほしいです。

「長崎キラリ☆カンパニー」

長崎のキラリ輝く地元企業を、長崎ケーブルメディアの「なんでんカフェ」の放送でも紹介しています。

